



# Tabloid by G.B.Gafas



Copyright GLASSES CO.,LTD.,all right reserved.



## vol.9 Good Life with Sunglasses

### “自分らしい”サングラスで 日差しをもっと優しく。

サングラスの起源は諸説ありますが、1930年代にパイロット用のサングラスが開発されて以来、その遮光性の高さによって欧米では瞬く間に浸透していきました。また、60年代には様々な服飾ブランドと結びつき、ファッションアイテムとしての可能性も広がっていったのです。以来、彼らにとってサングラスは屋外へ出る時、無くてはならない必需品になりました。日本においてもサングラスをかけるのは、それほど珍しい事ではなくなっています。しかし、皆さんがその恩恵を受けているかと言えば、決してそうとは言えないのです。サングラスをかけない方にその理由を伺うと「特に眩しさを感じない」、「サングラスをかける事に抵抗感がある」、このいずれかの回答がとても多いのです。まず、眩しさを感じなければOK…ではありません。自然光に含まれる紫外線は眼では感知できないため、知らず知らずのうちに眼の内部がダメージを受けてしまうのです。今のままで充分と感じていても、ぜひ偏光レンズ（\*注）をはじめとする高性能なカラーレンズを透した

視界を体験して下さい。有害な紫外線だけではなく、余分な反射光が取り払われ、驚くほどクリアな風景を手にするのです。ドライブやジョギング、アウトドアシーンの楽しさがアップする事は間違いないでしょう。そして、サングラスをかけるのを気恥ずかしく思われている方。サングラスは夏場のファッションに欠かせないキーアイテムであるのももちろんの事、眼を保護できる唯一のアイテムなのです。サングラスをかけるのは、日傘をさしたり、日焼け止めを塗るのと同じように自然な行為だと言えるでしょう。そして今、デザインの面でも変化が起こっています。以前に流行していたビッグシェイプサングラスは影をひそめ、トラディショナルなミディアムサイズのモデルが主流になり、上品なスタイルでかけこなす事がトレンドになっているのです。もし、眼鏡をご使用になっていてサングラスにかけ替えるのが面倒だと思われるのなら、紫外線の量によってレンズが薄色から濃色に変化する調光レンズやカラーレンズ入りのクリップが取り付けられるフレームを選んでいただく事が可能です。ぜひ、お気に入りの一本を見つけて素敵なサマーシーズンを迎えて下さい。

（\*注）表面に施されたコーティングや、レンズの内部に入れられたフィルムによって、反射光の一部を強力にカットできるレンズ。

